

キャラクター名  
紅林 玄

プレイヤー名

シンドローム	サラマンダー	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	
	サラマンダー				
オプション		年齢	25	性別	男
覚醒	感染	衝動	妄想	初期侵食率	28 %
出自	兄弟	経験	汚れ仕事	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	36
肉体	4	1	2			7	行動値	4
感覚	0	0	1			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			R C	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:	UGN	4
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
聖剣の王者	白兵	7r+4	7	15		シナリオ1回、C値-2(下限4)。暴走中攻撃不可
バーニングレイヴ	白兵	10r+4		19		10dx8+4

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

所持品	
コネ:UGN幹部	
ウェポンケース	
情報収集チーム	

合計装甲: 1    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タリ	消費
戦友	P 信頼	N 隔意		
弟	P 執着	N 悔悟		
春日恭二	P 執着	N 嫌気		
能美友奈	P 信頼	N 不安		
東宮院兼定	P 懐旧	N 悔悟		
アリス(有栖川日葵)	P 庇護	N 隔意		
遺産継承者: 聖剣の王者	P	N		

最大財産P: 6    残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果: レベル分C値マイナス								
氷盾	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード値に+[LV*5]								
結合粉碎	3	4	メジャー	-	-	対決	ピュア	
効果: コンボ:ダイス+LV 装甲無視								
炎の刃	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: コンボ:攻撃力+LV×2								
炎陣	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバー 行動済使用可、済にならない								
	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

<来歴>  
 紅林玄は早くに母を亡くした。9歳の時に父が再婚。翌年に弟が生まれる。家族の玄への接し方が悪いということにはなかったが、自分が不要なのではないかという思いを抱いていた。そして15歳の時、家族で出かけたショッピングモールで事件が起きた。思い込みからの疎外感で1人で家族から離れて店を回っていたところ、突如として破壊音と悲鳴が上がる。それは家族がいるはずの方向からだった。嫌な予感に気が付けば走り出していた。だが、そこで見た光景は変わり果てた姿の父と義母。異形の怪物に抱えられた気が失った弟だった。果敢にも怪物に挑むが敵うはずもなく、瀕死の重傷を負ってしまう。玄は弟へ必死に手を伸ばしたが、そこで意識は途絶えてしまう。

目を覚ましたのはUGNの病院施設だった。そこで玄はエージェントによって蘇生されたために自分がオーヴァードになったこと、弟が行方不明であること、レネゲイドを取り巻くこの世界の真実を告げられる。玄はUGNの保護を受け入れるも加入はせず、イリーガルとして登録される。事件のショックは大きく、親戚を名目上の保護者として高校に進学後も、どこか空虚な生活を送っていた。度々要請からUGNに協力したが、玄の境遇に配慮してか、避難誘導や連絡要員、調査などの前線に立つことのない任務を割り当てられた。そこで自分と同じく巻き込まれて覚醒した同年代のイリーガル達2人と交流を深めていく。その日も裏方の任務の時だった。事件にエージェント達が対処する隙を突き、妨害工作と人員の拉致を目的とした別働隊として行動していた"ディアボロス"春日に襲撃される。ろくな実戦経験のないイリーガル達は次々に倒れていく。その光景は家族を襲ったあの日と重なった。あの時みたいに助けは無い。それでも、少しでも、今何か出来る力があるなら。玄は真っ先に攻めかかり、他の2人もそれに続く。盾役となり2人と連携して応援が来るまでの時間を稼ぎ、最終的には撃退に成功する。その時にかげられた「お前がいたから」という言葉を契機にして、高校卒業と同時に協力した2人と共にUGNエージェントとなる。